

令和7年度 在宅医療・在宅介護市民講座の様子を紹介

市民が、在宅医療・在宅介護のイメージができ、疑問や不安の軽減を図ること、また、自分や家族の将来を考える機会となることを目的としてR7.12/14(日)に開催しました。

今年度は薬剤師と僧侶という二足のわらじで活躍されている森中先生をお招きし、終活や人生会議(ACP)についてお話をありました。

講演 「ためになる終活～自分らしい人生を歩むために～」

講師：セムイ調剤薬局 薬剤師（福井県薬剤師会会長）、浄土宗僧侶 森中裕信氏

残るために伝えることは大切なこと

敦賀市「あんしん連携ファイル」や福井県版エンディングノート「つぐみ」を活用して、自分を伝えましょう。

～あなたの生きる姿が誰かの心に残る
だから精一杯 自分らしく生きましょう～



＼敦賀市のお医療・在宅介護に関する市民アンケート結果報告や展示ブースを開設／

参加者の声

終活で何をするか、何を残すかのヒントを頂いたように思います。一度しっかり自分で振り返ってみたいと思います。



親のことと思って参加しましたが、自分にも今からできる事がたくさんあると感じました。



法話を交えたお話を自分の生き方や働き方などを考える良い機会になりました。



あんしん連携ファイルや福井県版エンディングノート「つぐみ」の配布場所・問い合わせ先

- 地域包括支援センター「長寿」 【長寿健康課(市役所1階 11番窓口)】 ☎ 22-8181(はいはい)
- 地域包括支援センター「あいあい」 【担当地域：粟野地区以外】 ☎ 22-7272(なになに)
- 地域包括支援センター「なごみ」 【担当地域：粟野地区】 ☎ 21-7530(なごみ)

過去に発行したものもご覧いただけます。

- 長寿健康課で配布しています。
- 市HPよりご覧いただけます。

敦賀市 支えあい



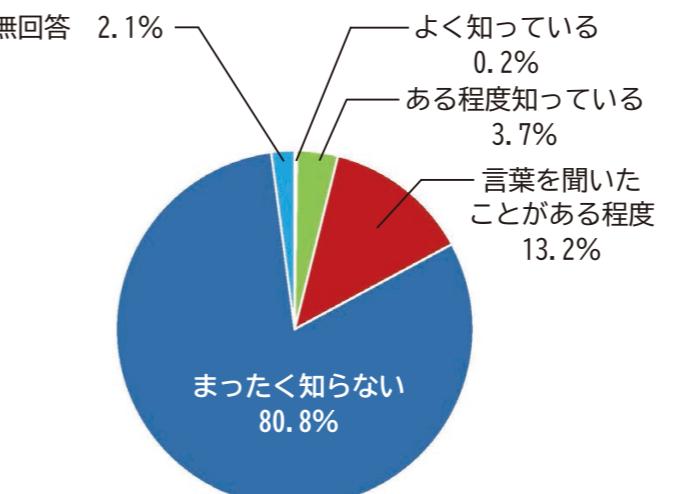
市HP

「支えあい」

～つるがで暮らそう～

人生会議(ACP)についてご存知ですか？

人生会議(ACP)について知っているか？



R7 在宅医療・在宅介護連携推進に関する
市民対象アンケート結果より
(30～79歳の市民 1,000人を対象に調査 (回答率 40.1%))

まだ知らない方が多い「人生会議(ACP)」…

⚡ “いざという時”は、いつ、誰に起こってもおかしくありません ⚡

命の危険が迫った状態になると 約7割 の方が、これから医療やケアについて自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなるといわれています。

「あんしん連携ファイル」は医療・介護の情報をまとめ、望む医療や介護に対する思いを記すことができ、またご家族などの身近な方や医療関係者など、信頼できる人と共有するのに役立てるものです。



大切にしていることを考えてみよう

- 1.もし生きができる時間が限られているとしたら、あなたにとって大切なことはなにですか？(チェックはいくつでも可)

1回目	記入日	年	月	日
<input type="checkbox"/> 家族や友人など大切な人のそばにいる	<input type="checkbox"/> 少しでも長生きする			
<input type="checkbox"/> 仕事や社会的な役割が続ければ	<input type="checkbox"/> 趣味活動や好きなことができる			
<input type="checkbox"/> 身の周りのことが自分でできる	<input type="checkbox"/> ひとりの時間が保てる			
<input type="checkbox"/> できる限りの治療が受けられる	<input type="checkbox"/> 自分が経済的に困らない			
<input type="checkbox"/> 家族などの心や体の負担にならない	<input type="checkbox"/> 家族が経済的に困らない			
<input type="checkbox"/> 痛みや苦しみがない	<input type="checkbox"/> わからない			
<input type="checkbox"/> その他()				

何から話し
合えばいい？

何を伝えたら
いいのかな？

介護や医療が必要になるのは
まだ先だと思うけど

まずは書けるところから書いてみよう！あんしん連携ファイル